Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による富山ならではの新産業の育成・創出

6. 産学官連携の推進

水素インフラ・次世代自動車研究の推進

次世代自動車関連産業の創出・育成及び水素社会の実現に向けたインフラに関する技術セミナーや技術交流会の開催、先進地視察等を行い、研究開発や関連ビジネスへの参入を推進します。

医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

● 医薬品ものづくり研究会の運営

付加価値の高い医薬品の容器、包装等の開発を支援するセミナー、マッチング等を推進します。

● 医薬工連携研究会の運営

多様な「ものづくり技術」を活かした医療機器・介護機器分野への新規参入と製品開発を支援するセミナー、展示会出展、マッチング等を推進します。

ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

医薬バイオ地域イノベーションの推進

地域イノベーション戦略支援プログラム（北陸ライフサイエンスクラスター）やその他関連した国・県の公募事業の研究成果等の技術移転・事業化と医薬工連携による医療機器等の開発を推進します。

ヘルスケア産業育成創出の推進

● ヘルスケア産業研究会の運営

ヘルスケア関連分野での製品開発、事業化を促進するため、セミナー・情報交換会の開催、コーディネート活動等を通して、産学官のネットワークの形成やマッチングを推進します。

アルミ産業成長力強化戦略の推進

高機能素材であるアルミの特性を活かす産学官が取り組む研究開発プロジェクト等を推進します。

7. 新産業・新技術の創出支援

産学官イノベーションの推進

● 新商品・新事業創出枠

バイオ、深層水、環境・エネルギー、ものづくり、航空機、医薬工連携、次世代自動車、ロボット、ナノテク、IoTなどの成長分野を中心に、産学官グループから開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく開発を支援します。

委託額	200万円以内
委託期間	1年度内

医薬工 小児用小型錠剤（ミニタブレット）製造用の打錠杵臼の開発（産業機械メーカー＆富山県薬事総合研究開発センター）。

ものづくり 食品衛生法に適合する銅鋳物ウイスキー蒸留器（ポットスチル）の開発（大型鋳物製造業＆富山県産業技術研究開発センター）。

● 新ものづくり戦略推進枠

産学官グループが実施する先端技術の実用化段階における、困難な技術的課題の解決を伴う商品開発・事業化を支援します。

委託額	500万円／年 以内
委託期間	2箇年度以内

● ヘルスケア製品開発推進枠

ヘルスケア関連製品の基礎的なシーズ技術の開発･試作や実証実験など､具体的な製品の実用化を目指す研究開発を支援します。

委 託 額	200万円以内	500万円／年 以内
委託期間	1年度内	原則2箇年度以内

医薬品関連ものづくり研究開発の支援

ものづくり企業の医療現場や製薬企業･医薬品関連業界等からの具体的なニーズに基づく製品･技術の研究開発を支援します。

助 成 率	1／2以内
限 度 額	250万円／年
助成期間	1年度内

企業間連携による事業化実現への支援

県内の産業基盤を強化し､県内企業におけるものづくりの競争力を高めていくために複数の県内企業による新製品開発等を支援します。

助 成 率	1／2以内
限 度 額	1,000万円／年
助成期間	1年度内

とやまナノテククラスター技術移転･事業化の促進

地域イノベーション戦略支援プログラム（とやまナノテククラスター）での取り組みについて、PR活動を通じ、研究成果の技術移転･事業化を促進します。

ものづくり研究開発支援
（とやま中小企業チャレンジファンド事業）

県内中小企業者（グループ含む）の新商品･新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助 成 率	1／2
限 度 額	200万円
助成期間	最長2箇年度

戦略的基盤技術高度化支援（サポイン）

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について､中小企業及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組み（中小ものづくり高度化法等の計画認定を受けたもの）を支援する事業に関し事業管理機関として支援します。

CASE 2

五洲薬品株式会社　〈研究開発部長〉 佐伯 行紀 氏

▶P.6 ● 産学官イノベーション推進事業
▶P.7 ● 戦略的基盤技術高度化支援事業（通称サポイン）

共同研究の中から新商品を開発 次の研究テーマのヒントも得る

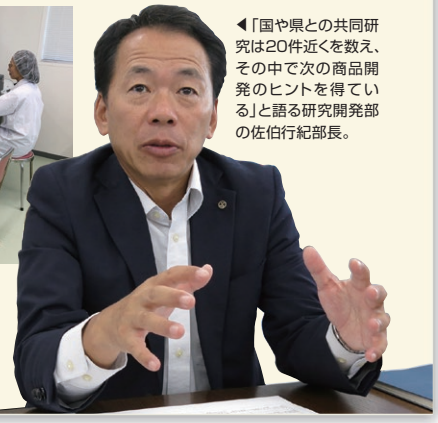
富山湾の海洋深層水を利用して､さまざまな商品開発を進める同社。平成28年度には産学官連携推進事業（産学官イノベーション推進事業に引継がれる）の採択を受けて､深層水と微細化昆布を用いた高機能スキンケア剤の開発に取り組んだ。昆布のナノ化により肌荒れの改善効果を高め､商品化に弾みをつけた。続く戦略的基盤技術高度化支援事業では､ヒトの幹細胞を培養する溶液を深層水からつくり､それを化粧品に応用することに。「本格的な医療分野への挑戦で､緊張の連続でした」と佐伯部長は振り返る。本事業は､iPS研究の第一人者のほか､4大学の専門家が参画する大型研究となった。

その結果､細胞培養液の開発は深層水による高性能化へと発展し､培養液の応用ではシワの改善と美白効果を認める高機能性化粧品が開発された。佐伯部長が数々の経験を通して語る。

「共同研究の過程や成果には､次の商品開発のヒントを得ることも含まれる」と。そしてサポインで得たヒントを指折り数えるのだった。

◀同社は日本で初めて多段式海水分離技術の実用化に成功し､富山湾の海洋深層水を活用した各種商品を展開している。

▲「大学や公設試験研究機関の研究員と交わると､刺激になる」とは同社開発スタッフのコメント。



◀「国や県との共同研究は20件近くを数え､その中で次の商品開発のヒントを得ている」と語る研究開発部の佐伯行紀部長。

8. 富山県ものづくり研究開発センター

● 富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。10m法の電波暗室、63種類の最先端設備を備えたデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、製品機能評価ラボ、CNF製品実証試作拠点等の最先端設備等設置スペースと、研究開発スペースの開発支援棟で構成されています。

● 最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自ら操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

● 研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

● 実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

● 異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

● 開発支援棟の研究スペース

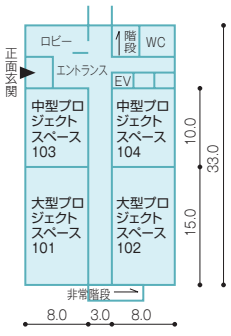
カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

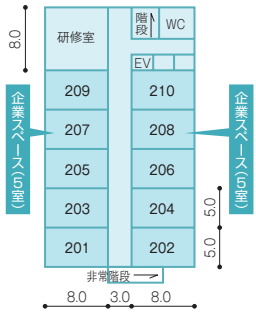
［1階］

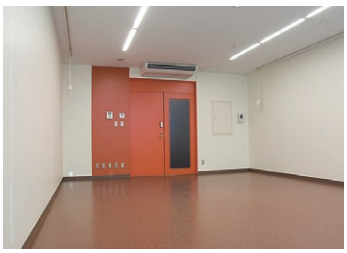
プロジェクトスペース			
使用料金	80㎡(2室)	月額	181,000円
	120㎡(2室)	月額	271,500円

［2階］

企業スペース			
使用料金	40㎡(10室)	月額	90,500円

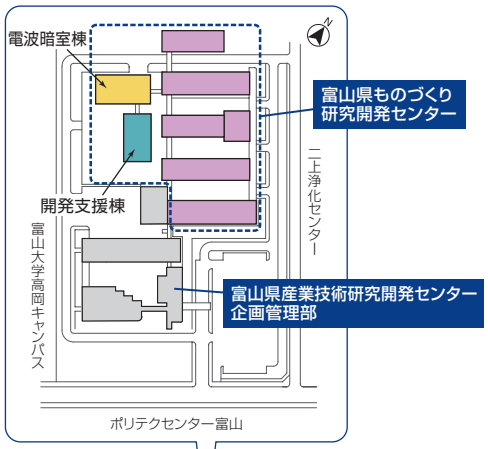






電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電気的に隔離された部屋。

●アクセス



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280　FAX.0766-50-8283